

# 検断屋敷まつり

th



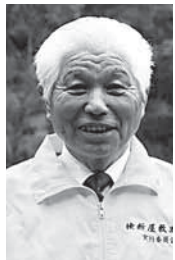
心からの感謝とともに ありがとう10年!



▲春・夏・秋・冬と年4回開催されるまつりには小原地区のすべての自治会長や元自治会長、小原温泉旅館組合長、農家組合委員の代表者などが実行委員として参加。小原を盛り上げる仕掛けが詰まった風物詩「検断屋敷まつり」は楽しいがいっぱい!

## Interview

### 検断屋敷まつり実行委員長



たかはし とおる  
高橋 昶さん  
Toru Takahashi

検断屋敷などが整備されて10年。これが起爆剤になって、検断屋敷まつりを開催するなど、地域に活力が生まれました。

東日本大震災以後、福島第一原子力発電所の事故による風評被害などで観光客は例年の半数となっていますが、私たちの地域おこしにける気持ちに変わりはありません。これからも地域の人たちとともにまつりを開催し、この場所から小原の元気を発信していきたいと思ひます。



1\_自然景観の素晴らしさと歴史ロマン漂う材木岩公園。「検断屋敷」は12月～2月まで休業し3月から再開。その他の施設は3月まで休業し4月から再開 2\_小原産そば粉を使用した自慢のそばを提供する「そば処なごみ茶屋」の皆さん 3\_小原でとれた季節の農林産物などを提供する「小原いきいき直売所」の皆さん 4\_公園にある売店はソフトクリームや玉こんにゃく、焼きだんごが大人気!

### 検断屋敷まつり副実行委員長

たかはし としお  
高橋 敏男さん  
Toshio Takahashi



子どもからお年寄りまでがつながりを持てるという意味で検断屋敷まつりは重要なイベント。これからも小原ならではの生活文化などを大切に受け継いでいくためにも、世代を超えたつながりを深め、小原の魅力を伝えていきたいと思ひます。



上 国の指定天然記念物「材木岩」  
右 水と石の語らいの公園

材木岩公園 昭和9年に国の天然記念物に指定された「材木岩」。巨大な材木を垂直にならべたような断崖が、高さ65m、幅およそ100mにわたって続く(東日本大震災とその後の余震で材木岩の一部が崩落)。この材木岩の対岸にある「水と石との語らいの公園」は平成3年に市が整備。水と石をテーマに、既存の石を生かして池、滝、噴水を演出し、夏になると公園内の親水路で水遊び、秋は燃えるような紅葉と、小原の四季を楽しむ場所となっている。

## 第10回冬の検断屋敷まつり

雪景色の材木岩で、小正月に飾る「だんごさし」を体験してみませんか?

●日時 1月6日(日) 10:00～13:00

●内容 だんごさし体験、暁がゆの提供、小原の伝説紙芝居、ニュールーレットゴルフ競技、年頭メッセージ付き風船飛ばしなど

📍小原公民館 ☎0224-29-2031

冬の小原をお楽しみください



域活性化を促す観光名所に定着している。  
検断屋敷などの整備と同じ年にスタートした「検断屋敷まつり」。春は桜とこいのぼり、夏は七夕飾り、秋は燃えるような紅葉、冬は一面の銀世界が訪れる人たちをお出迎え。四季折々のイベントを企画し、小原の魅力を伝え続けてきた。  
しかし、東日本大震災とその後の余震で材木岩の一部が崩落。材木岩対岸の道路も土砂崩れで一時通行止めになったことや、福島第一原子力発電所事故による風評被害で、震災以降、観光客が激減しているという。  
高橋昶実行委員長は、「少しでも勇気と元気、楽しさを感じてほしいと、震災があった年もまつりを開催しました。世代や地域を超えた交流は、地域の元気、たくさんの人たちの笑顔につながります。これからも自然景観の素晴らしさと歴史の流れ、小原ならではの農林産物や生活文化などを活かしたイベントを企画し、特色ある地域づくりを推進していきます」と力を込めて話す。  
1月6日は「第10回冬の検断屋敷まつり」。明日への元気を与えてくれる実行委員の皆さんの笑顔に会いに、足を運んでみてはいかがだろうか。

11月11日、「第10回秋の検断屋敷まつり」が材木岩公園で開催された。この日は、景観太鼓の演奏やカラオケなどのステージ発表のほか、恒例のリングの皮むき大会やリングつかみ取り競技、だるま落とし競技、ウツドボウリング競技、紅白餅まきなどが行われ、赤や黄色の秋色に染まった材木岩公園の木々の紅葉を楽しみながら、まつりを楽しむ人たちの笑い声が響き渡っていた。  
平成15年に小原地区の材木岩公園内に移築復元した検断屋敷と、屋敷に隣接して整備した農家レストランや直売所は、地域振興と農林産物の地産地消を目指し市が整備した。復元した屋敷は、寛永元(1624)年から明治維新に至るまで上戸沢宿で宿駅の行政全般をつかさどった「木村家」の住宅を移築復元した。仙台藩の古い形態を残す屋敷として評価され、平成16年には県の有形文化財に指定された。  
また、地区の小中学生が「名付け親」となり上戸沢地区の民家を再現した農家レストラン「そば処なごみ茶屋」と農林産物直売所「小原いきいき直売所」は、そばや果物、山菜などをはじめとする小原の里の幸を提供し、今では、小原地区の地